

5. 数値目標

日野市では、以下の4つの数値目標に向けて取り組みを実施します。

達成に向けて
全力前進!



<p>①一人1日あたりのごみ・資源物排出量</p> <p>「多摩地域で一番少ない排出量！」</p> <p>平成33年度までに590g/人・日以下とし、平成38年度までに550g/人・日以下とします</p> <p>648g/人・日 → 590g/人・日 → 550g/人・日</p> <p>平成27年度 平成33年度 平成38年度</p>	<p>②総資源化率</p> <p>「多摩地域で上位の総資源化率！」</p> <p>平成33年度までに42%以上とし、平成38年度までに45%以上とします。</p> <p>35.3% → 42.0% → 45.0%</p> <p>平成27年度 平成33年度 平成38年度</p>
<p>③焼却処理量</p> <p>「平成27年度比20%削減！」</p> <p>平成33年度までに28,000t以下とし、平成38年度までに26,000t以下とします。</p> <p>33,138 t → 28,000 t → 26,000 t</p> <p>平成27年度 平成33年度 平成38年度</p>	<p>④最終処分量</p> <p>「最終処分量ゼロ！」</p> <p>平成33年度までにゼロとし、平成38年度までそれを維持します。</p> <p>17 t → 0 t → 0 t</p> <p>平成27年度 平成33年度 平成38年度</p>

6. 数値目標の達成に向けて

市民のみなさまの協力なくして目標の達成はできません。
以下の指標や取り組みを参考に、ごみゼロ達成へのご協力をお願い致します。

みなさんの協力が
不可欠です!



<p>①1人1日あたりの可燃ごみ削減量</p> <p>405g/人・日 → 370g/人・日 → 351g/人・日</p> <p>平成27年度 平成33年度 平成38年度</p> <p>(可燃ごみ-54gに向けた具体的な取り組み)</p> <ul style="list-style-type: none"> ○生ごみの水切り ○家庭・地域での堆肥化 ○可燃ごみ中に混入した紙類の分別・資源化 ○剪定枝等のリサイクル など 	<p>②1人1日あたりの不燃ごみ削減量</p> <p>84g/人・日 → 19g/人・日 → 15g/人・日</p> <p>平成27年度 平成33年度 平成38年度</p> <p>(不燃ごみ-69gに向けた具体的な取り組み)</p> <ul style="list-style-type: none"> ○プラスチック類の分別・資源回収 ○小型家電・金属類回収の推進 ○分別徹底・適正排出 など
--	---



第3次日野市ごみゼロプラン

～ごみゼロ社会を目指して～

(日野市一般廃棄物処理基本計画 概要版)



1. 計画策定の背景と目的

第3次ごみゼロプラン(以下、「本計画」という。)は、「ごみゼロ社会」の実現に向けて、多様化する廃棄物の資源化や、更なるごみ減量のための施策及び取り組みを示した計画です。

本計画は、平成27年度から平成28年度にかけて「第3次日野市ごみゼロプラン策定委員会」を立ち上げ、市民・事業者が参画した約40名の委員と共に、市民が理解しやすい計画を目指して策定されました。

2. 計画期間

本計画の計画期間は、平成29年度から平成38年度までの10年間とし、平成33年度を前期目標年次、平成38年度を後期目標年次とします。

3. 日野市のごみ処理の課題

日野市のごみ処理における主な課題は以下のとおりです。

(課題1) ごみ減量

平成12年のごみ改革により、ごみ排出量の大幅削減を達成しましたが、近年は『横ばい傾向』であることから更なるごみ減量が必要です。



(課題2) リサイクル

可燃ごみの約33%を占める生ごみや分別を開始するプラスチック類の品目を資源として有効利用する必要があります。



可燃ごみに
含まれる生ごみ
約33%

(課題3) ごみ減量意識

ごみ減量に向けた、市民・事業者のごみ減量意識の向上、環境学習の充実が必要です。



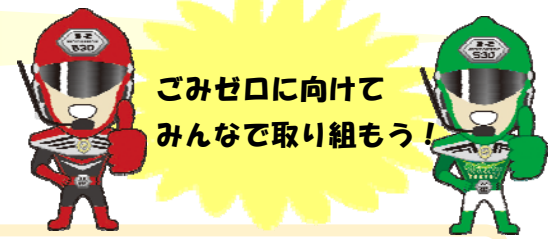
(課題4) 広域連携・適正処理

ごみの広域連携及び適正処理を実施するにあたり、市民・事業者・市・関係機関との連携強化情報共有等を促進する必要があります。



4. 第3次ごみゼロプラン ～市民の皆さまに実施していただきたい取り組み（抜粋）～

日野市のごみ処理における課題を解決すべく、以下の基本理念を掲げ、市民・事業者・市が協働し、それぞれが行動に移すことにより、ごみの更なる減量を目指します。「ごみゼロ（焼却ゼロ・埋立てごみゼロ）」を実現することにより、環境への負荷が低減され、「環境問題の解決」及び「循環型社会の実現」につながります。



【基本理念】ごみゼロ（焼却・埋立てごみゼロ）により地球環境問題の解決及び循環型社会の実現に向けてみんなで取り組むまち・日野

課題	(課題1) ごみ減量	(課題2) リサイクル	(課題3) ごみの減量意識	(課題4) 広域連携・適正処理
基本方針	<p>ごみの更なる減量</p> <p>■市民・事業者・市協働での『リフューズ（ごみになるものを持ち込まない）・リデュース（出るごみを減らす）・リユース（そのまま使えるものは何度も使う）・リターン（販売店へ返す）』によるごみの更なる減量</p>	<p>適正なリサイクルの推進</p> <p>■ごみの減量を優先し、1人1人のリサイクル意識の向上による、限りある資源の有効利用</p>	<p>ごみ減量の意識向上に向けた普及啓発・情報提供</p> <p>■5R（リフューズ・リデュース・リユース・リターン・リサイクル）に向けた、効果的な普及啓発・情報提供</p>	<p>広域連携の推進 ごみの適正処理の推進</p> <p>■広域処理における関係者との信頼関係確立による安全・安心かつ効率的なごみ処理体制の確立・運用</p> <p>■循環型社会を支える、適正なごみ処理体制の継続</p>
ごみゼロ達成のための具体的な取り組み事項	<p>①容器包装お返し大作戦の実施！</p> <p>・マイバック・マイ容器を使用し、容器包装の「買わない」「もらわない」「店に返す」を徹底しましょう。</p> <div data-bbox="207 903 845 1228"> <p>○買い物は行きも帰りもマイバック</p> <p>①マイバックに資源物を入れて買い物へ ②お店の回収ボックスに資源物をお返し ③レジ袋を断り、マイバックで帰宅（①に続く）</p> </div> <p>②レジ袋、過剰包装はお断り！</p> <p>・マイバックを積極的に使用し、レジ袋や過剰包装は断る、頼まないにしましょう。</p> <p>③まだ使えるものはリユースへ！</p> <p>・フリーマーケット、リサイクル事務所や回転市場を積極的に活用しましょう。</p> <p>④3 切り運動の実施で生ごみの削減を！</p> <p>・食材の使い切り、食べ切り、生ごみの水切りによって、生ごみの排出量を減らしましょう。</p> <div data-bbox="207 1722 845 1921"> <p>食材の使い切り 食材の食べ切り 生ごみの水切り</p> </div>	<p>①質の高いごみ分別の実施！</p> <p>・「分ければ資源」を合言葉に、より徹底したごみの分別を目指しましょう。</p> <p>②家庭内生ごみ処理の実施！</p> <p>・住宅環境に即した家庭内生ごみ処理（庭や畑などに埋める、ダンボールコンポストなどの利用等）を実施しましょう。</p> <div data-bbox="875 1123 1558 1312"> <p>○生ごみリサイクルステッカーを貼ろう！ このステッカーが、玄関に貼られている家庭は、家庭内で生ごみ処理を実施しているという証です。</p> </div> <p>③プラスチックは減量、さらに適切な分別を！</p> <p>・プラスチック減量のための代替品（例：ラップ削減のため電子レンジ用のフタの使用、ペットボトル削減のためのマイボトルの使用）等を使用しましょう。</p> <p>・今後実施されるプラスチック類の回収において率先して分別しましょう。</p> <div data-bbox="875 1596 1558 1795"> <p>電子レンジ用のフタやマイバック等を使用しましょう。</p> </div> <p>④剪定枝は資源化へ！</p> <p>・剪定枝の回収に協力し、剪定枝の資源化に協力しましょう。</p>	<p>①情報紙・市報を活用してごみ減量を！</p> <p>・市報やエコの購読、ごみアプリ・ごみ資源分別カレンダー等を有効的に活用して、ごみ分別・減量を実施しましょう。</p> <p>・転入者やごみ分別に困っている人がいる場合は、住民同士で協力し、ごみ分別を徹底しましょう。</p> <p>②ごみ学習推進プログラムでごみ博士に！</p> <p>・ごみ学習推進プログラムに積極的に参加し、ごみや環境に関する知識を深め、ごみ減量に向けた意見の発信や行動につなげましょう。</p> <p>③ごみ減量のための情報交換を！</p> <p>・市民・事業者・市が情報・意見交換できる場に積極的に参加しましょう。</p> <div data-bbox="1587 1438 2181 1921"> <p>○ごみアプリって？ 「日野市ごみ分別アプリ」 日野市で配信するアプリで、収集スケジュール、ごみ分別辞典などがわかり、出し忘れ防止アラート等の機能を使うことができます。</p> <p>iPhone版（アイフォン版） Android版（アンドロイド版）</p> </div>	<p>①広域処理に向けて3市での連携を！</p> <p>・可燃ごみの広域処理を実施する3市（日野市、国分寺市、小金井市）において、現在設置を検討している情報共有の場に、ごみ減量等に関する意見を出しましょう。</p> <p>②ごみ減量に取り組み、処分場延命化へ！</p> <p>・最終処分場への負荷を軽減するため、最終処分量ゼロに向けて、ごみを分別・減量しましょう。</p> <div data-bbox="2211 1165 2864 1480"> <p>○二ツ塚最終処分場 多摩地域から出たごみが埋め立てられており、多摩地域最後の最終処分場といわれています。</p> <p>※東京たま広域資源循環組合 HP より</p> </div> <p>③リサイクルプラザの検討に参加を！</p> <p>・リユースの促進・情報発信の拠点となるリサイクルプラザの計画作成時には、魅力的な施設となるよう市と協力して計画作りを行いましょ。</p> <p>④適正処理を続けるために！</p> <p>・市民団体・自治会のメンバーとなり、地域単位でのごみ減量・適正処理等の取り組みに参加しましょう。</p> <p>・廃棄物減量等推進員を中心に地域でのごみ減量に取り組ましょ。</p>